

令和8年度看護職員の負担軽減及び処遇改善に資する計画

【負担軽減及び処遇改善に対する責任者】

事務部長：南里 昌彦

【負担軽減及び処遇改善推進の委員会】

医師等働き方改革部会 1回/年

項目		目標達成年次	取組み内容
ア 配慮した 勤務表作成と 適正配置 業務量の調整	適正な人員配置と状況に 応じた調整で時間外が発生 しないように配慮	令和8年継続 ※開始項目	・勤務表作成基準遵守 ・勤務希望5日 ルールの遵守 ・年休・特休取得状況の把握（師長会で共有） ・欠員や業務の状況に応じた部署間のリリーフ体制の調整 ・データ（DiNQL等）から人員配置 ・始業時間変更（情報収集時間確保） 8:30⇒8:15 ※外来⇔病棟・手術室 一元配置や兼任 ※眼科日帰り手術検討 ・入退院支援センター、退院支援看護師を増員し、外来・病棟看護師の業務負担軽減 ・ブリーフィング・デブリーフィングによる業務調整と時間外削減 ※ケアサポート担当を配置し、病棟の業務負担軽減と復帰者の支援 ・積極的な採用活動 インスタグラム活用
イ 看護職員と 多職種との 業務分担	薬剤師	令和8年継続	・病棟への薬剤の払い出し（患者単位で準備） ・病棟薬剤師の配置と服薬指導 ・持参薬センターで持参薬管理書作成 ・抗がん剤のミキシング ・定数配置薬の確認と適正数の是正
	リハビリ職種	令和8年継続	・ベッドサイドリハビリの拡充 ・STによる食事中的嚥下評価、訓練の実施
	臨床検査技師	令和8年継続	・中央採血室の業務運営 ・翌日の採血管の準備と配布 ・検体回収（時間外救急室）
	臨床工学技士	令和8年継続	・機器の中央管理と保守点検（人工呼吸器・輸液ポンプ・シリンジポンプ・フットポンプ等） ・病棟巡視 ・麻酔器管理 ・医療機器に関する研修会の開催
	診療放射線技師	令和8年継続	・静脈路確保と造影剤投与
	栄養管理士	令和8年継続	・患者から食物アレルギーの聞き取り ・栄養状態改善目的の「おこのみ食」聞き取り
	その他（事務）		

ウ 看護補助者の配置	看護補助者の増員及び夜間配置等	令和 8 年継続 ※開始項目	・看護補助者 50⇒52人 介護福祉士 1人 ・看護補助者ラダー導入 ※看護助手 朝カンファレンス開始 フロア制・リリーフ体制の強化 ・看護助手・夜間助手の業務内容調整
エ 短時間正規雇用の看護職員の活用	短時間正規雇用の看護職員を活用する	令和 8 年継続	・勤務形態の希望調査（60歳以上の看護職員）
オ 多様な勤務形態導入	多様な勤務形態での雇用で看護職員の採用を促進する		
カ 妊娠・子育て中介護中の職員に対する配慮	院内保育	令和 8 年継続 ※開始項目	・院内保育所と連携し、就業と育児両立の支援 ・病児保育（医師・看護職等利用可）
	夜勤免除		・子が小学校就学の始期に達するまで希望・届出により可能 ・妊娠中希望・届け出により可能
	半日・時間単位休暇制度		・看護・介護休暇の取得
	所定労働時間の短縮		・育児短時間勤務・介護時間・部分休業 届出により可能
	他部署等への配置転換		・出産・育児・介護事由としての本人の要望による配置転換への対応
キ 夜勤負担の軽減	夜勤従事者の増員 月の夜勤回数の上限設定 夜勤中の業務量の調整		※新人看護師ダブリ夜勤増 3⇒6回 ※新人夜勤開始時期の再検討 ・繁忙期の夜勤増員 ・夜勤管理者による緊急入院患者の病棟の調整 ・必要時救急室から病棟へリリーフ
ク その他 機器整備及び 業務改善	機器整備やDX活用による 業務改善	令和 8 年継続 ※開始項目	・電動ベッド増台し看護師の業務負担軽減 ※入院説明・指導動画の再編集 ※情報システム担当師長を配置 ※ポケさばを導入し入院説明時間の短縮 夜間緊急入院に活用 ※音声入力（Caretomo）の導入検討 ※GoogleWorkspase、LMの活用 ※離床センサー増台し転倒・転落予防強化 ※緩衝マットの導入検討
ケ キャリア支援	特定看護師の育成	令和 8 年継続 ※開始項目	・特定看護師 3人研修受講 3⇒6人 ※麻酔関連の特定行為業務拡大 ※周術期管理チーム導入のため 2名受講予定 ※RRSの構築